

平成 30 年度西宮湯川記念事業 概要

湯川秀樹博士が日本人として初めてノーベル賞を受賞された「中間子論」を提唱されたのは、西宮市苦楽園に在住の時であった。昭和 60 年には門下生が、苦楽園小学校校庭に「中間子論誕生記念碑」を建立された。これを契機に、中間子論が本市で誕生したことを、市民をはじめ内外に知っていただくとともに、文教住宅都市の誇りと考え、昭和 61 年から理論物理学研究者による「西宮湯川記念事業運営委員会」を組織し、関係各位のご協力を得ながら、湯川記念賞をはじめとする西宮湯川記念事業を実施している。平成 30 年度も引き続き、下記事業を実施する。

※現時点での予定です。

1. 「西宮湯川記念こども科学教室」(第 21 回)

趣旨	西宮の子供たちに、科学に親しんでもらい、科学する心を育てるため実施する。
日時	平成 30 年 9 月 8 日 (土) 11:00~14:00 9 日 (日) 10:00~14:00
会場	西宮市立総合教育センター
内容	科学工作・実験の演示・・・各日 20 ブース程度
参加者	西宮市内の親子連れを中心に、各日 1300 名程度
共催	日本物理教育学会近畿支部、西宮市教育委員会

2. 「西宮湯川記念賞」贈呈式 (第 33 回)

趣旨	基礎物理学における研究を奨励するため、若手研究者 (40 歳未満) の顕著な業績 1 件に対し賞 (賞状、盾、賞金 50 万円) を贈呈する。
受賞者の選考	西宮湯川記念賞選考委員会
受賞者の承認決定	西宮湯川記念事業運営委員会・西宮市
贈呈式日時	平成 30 年 12 月 8 日 (土) 13:00~14:00
会場	フレンテホール (フレンテ西宮 5 階)
参加者	西宮市民 300 名程度
協賛	日本物理学会
後援	京都大学基礎物理学研究所

3. 「西宮湯川記念こども課外教室—未来の科学者たちへ—」(第 20 回)

趣旨	西宮のこどもたちと物理学者が触れ合う機会を設け、理科・科学に興味と関心を持ってもらう。
日時	平成 30 年 12 月 7 日 (金) 10:00~11:00
会場	西宮市立苦楽園小学校
内容	西宮湯川記念賞受賞者のお話
参加者	苦楽園小学校 6 年生 100 名程度

裏面に続く

4. 「西宮湯川記念科学セミナー」(第22回)

趣旨	西宮市民の基礎科学に対する正しい認識と、学生の科学する心を育てることを目的に、最先端の科学について専門家が、高校生にも分かりやすいレベルで解説する。
日時	①平成30年12月8日(土) ②平成30年12月15日(土) 両日14:00~16:00
会場	フレンテホール(フレンテ西宮5階)
参加者	西宮市民 各日300名程度
講師	①東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 特任教授 佐々木 節(ささき みさお) 氏 ②京都大学大学院理学研究科 特定准教授 藤井 啓祐(ふじい けいすけ) 氏

5. 西宮湯川記念理論物理学ワークショップ

趣旨	理論物理学の分野において、若手研究者の研究を奨励するために、専門家を対象に実施する。
日時	平成30年7月2日(月)~8月3日(金)
会場	京都大学基礎物理学研究所

以上